

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	ユネスコ活動の助成		<b>担当部局庁</b>	国際統括官付		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和27年度・未定		<b>担当課室</b>	国際統括官付		国際統括官付 国際戦略企画官 梶井 圭子		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 XIV-2 国際協力の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	ユネスコ活動に関する法律(第4条)		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	「ユネスコ活動に関する法律」に基づき、国が民間のユネスコ活動に協力することにより、ユネスコ活動を推進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	ユネスコ活動の推進を目的とした民間団体に対して、アジア・太平洋地域等における開発途上国の教育、科学又は文化の普及・発展のための交流・協力事業を実施するために必要な経費を助成する。(補助率:定額) ○連絡交流事業・・・ユネスコ活動の普及に資する資料収集・交換・人物交流等 ○文化協力事業・・・無形文化遺産関連を中心とする文化活動従事者人材養成、文化多様性に対応した現代文化振興事業等 ○教育協力事業・・・ノン・フォーマル教育専門家研修、教材開発、人材養成、女性のための識字教育モデルセンターの支援、ESD推進センター支援等							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	113	101	91	82	57	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	△9	9	0		
	執行額	113	92	100	82	57		
	執行率(%)	90	91	99				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	民間のユネスコ活動の推進は、様々な活動の総合的な成果として現れるものであるため、本事業のみによる成果指標等の設定は困難		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施事業数		活動実績 (当初見込み)	件	5	12	13	-
					( 5 )	( 12 )	( 12 )	( 10 )
<b>単位当たりコスト</b>	7.6百万(円/件)		算出根拠	= 予算執行額(99百万円) ÷ 実施事業数(13件) ※平成24年度				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	政府開発援助ユネスコ活動費補助金	82百万円	57百万円					
	計	82百万円	57百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	ユネスコ活動に関する法律に基づき、国が民間のユネスコ活動に協力することにより、アジア・太平洋地域におけるユネスコ活動を推進するといった事業目的を達成するため、国が俯瞰的に推進していく必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。また、補助金の交付決定に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っているところ。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	我が国の大学及び民間団体等が、アジア・太平洋地域諸国の政府、ユネスコ国内委員会及びユネスコ地域事務所等と、直接密に連携して行うユネスコ活動を支援することにより、事業の効果的な実施及び我が国のプレゼンス向上を図っており、実効性の高い手段となっている。また、シンポジウム・研修プログラムの報告書及び開発した教材を関係機関へ配布するなど、成果物の活用を図っている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	我が国の大学及び民間団体等が、アジア・太平洋地域諸国の政府、ユネスコ国内委員会及びユネスコ地域事務所等と、直接密に連携して行うユネスコ活動を支援することにより、事業の効果的な実施及び我が国のプレゼンス向上を図っており、実効性の高い手段となっている。また、シンポジウム・研修プログラムの報告書及び開発した教材を関係機関へ配布するなど、成果物の活用を図っている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
点検結果	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
<p>今後の事業の実施に当たっては、これまでの活動実績を踏まえ、より発展的な活動が実施できるよう、ウェブサイトの活用等により、成果の情報発信をより広く行っていく必要がある。また、ユネスコは現在、米国の拠出停止により非常に厳しい財政難に直面しているため、ユネスコのニーズを十分に踏まえて、より効果的・効率的な補助事業の実施を図り、我が国としての貢献及びプレゼンスを示す必要がある。</p>						
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、ユネスコ活動の推進を目的とした民間団体に助成を行うものであり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 本事業は、ユネスコ活動に関する法律に基づき実施しているものであり、事業規模の適正化やコスト削減に留意しつつ、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
<p>・政府開発援助ユネスコ活動費補助金  <a href="http://www.mext.go.jp/unesco/014/index.htm">http://www.mext.go.jp/unesco/014/index.htm</a></p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	0424	平成23年	0029	平成24年	0021	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省  
99 百万円

〔ユネスコ活動の助成〕

【公募・補助】

A. 政府開発援助ユネスコ活動費補助金  
99 百万円  
大学等(全11機関)

- 連絡交流事業 …… ユネスコ活動の普及に資する資料収集・交換・人物交流等
- 文化協力事業 …… 無形文化遺産関連を中心とする文化活動従事者人材養成、文化多様性に対応した現代文化振興事業等
- 教育協力事業 …… ノン・フォーマル教育専門家研修、教材開発、人材養成、女性のための識字教育モデルセンターの支援、ESD推進センター支援等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	国際ワークショップ開催に係る旅費(国内外からの参加・準備等)	10			
人件費	国際ワークショップ開催に係る人件費(企画・準備・運営等)	8			
消耗品費等	国際ワークショップ開催に係る消耗品費、借損料、会議開催費、通信運搬費(パソコン・コピー用紙等の購入、車両・会議室の借り上げ、参加者への郵送等)	2			
雑役務費	国際ワークショップ開催に係る雑役務費(ウェブサイト制作、報告書の英訳、通訳等)	1			
諸謝金	国際ワークショップ開催に係る諸謝金(講義等)	1			
印刷製本費	国際ワークショップ開催に係る印刷製本費(報告書)	1			
計		23	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター	アジア太平洋EFA-ESD連携促進のための調査・専門家会合～ユネスコに基づいた教育協力の現場からの血の発信と共有	14	—	—
		アジアのユネスコスクールの連帯と防災を考える、未来を担う子どもたちとコーディネーターのためのESDリーダー養成ワークショップ	9	—	—
2	京都大学	フィリピン有形・無形文化遺産の先端デジタル技術従事者人材育成	10	—	—
		ラオスにおける持続可能な発展のためのエネルギー科学教育の推進	9	—	—
3	特定非営利活動法人SEEDS Asia	ミャンマーのデルタ地帯における防災教育能力向上支援事業	9	—	—
4	聖心女子大学	発展途上国の農村部及び都市部における<ESDコミュニティ>の構築	8	—	—
5	特定非営利活動法人アイシーエル	アジア地域を対象とする地すべり災害軽減のための教材開発 —2006年東京行動計画推進のためのUNESCO-ICL覚書の一環として—	7	—	—
6	早稲田大学	アジア・太平洋地域における公正とインクルージョンのための教育政策調査	6	—	—
7	筑波大学	インドネシア・ニアス島の木造建造物群文化遺産の保存体制構築と修理技術協力	6	—	—
8	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台	「君もガリレオ！」プロジェクト	6	—	—
9	大阪大学	アジア生物資源の持続的利用に向けたUNESCO国際大学院研修講座ネットワーク強化と技術基盤形成	6	—	—
10	九州大学	ブータン王国におけるユネスコ文化遺産関連条約の執行準備及び文化遺産保護法制整備の発展的継続	6	—	—

※補助金事業であるため、「入札者数」及び「落札率」は記載なし